

機器間ジ力接続端子台：調芯コネクタ

開発中

e-Axle等、ユニット同士の組立作業を簡略化(自動化にも貢献)
搭載と同時に電氣的接続を完了させる端子台(インバータ×モータ接続)
オスメス嵌合端子採用により接続作業とサービスホールの廃止

背景・課題

端子台による公差吸収を前提としたユニット設計に貢献
ケース同士のズレ(X・Y方向±0.8mm程度)を端子台で吸収して接続可能

課題への解決・特徴

● 主要性能、仕様・構造

- 1 LA端子の設定位置に自由度を持たせ製品の共用性が拡大
- 2 編組導体の構造を採用することにより大幅な公差吸収が可能。
例えば樹脂アタッチメントによるバリエーション確保が可能(ストレートや、L字向き)
- 3 耐振動性能を確保した丸ピン端子採用(量産実績有り、継続採用中)
- 4 パッキンによる防水、防油構造で油冷式モータに対応

<矢崎 開発例>

コネクタを分離(インナーハウジングとアウターハウジング)構造とし、編組導体を介在させることによって各端子が独立して公差吸収可能としている

